

2026 年 7 月 27 日
新プロセス開発室 豊増 孝志

IMDS 資料作成について

私が現在行っている IMDS 資料作成について、今回は説明をさせて頂きたいと思います。また今後 IMDS 資料の作成を依頼される人に向けて、必要となる情報についての説明をさせていただきます。

・IMDS 概要

環境保護を目的とした各種の法規に対応するため、1998 年、ドイツ自動車工業会は自動車に使用されている物質のデータを収集するシステムを開発することにした。これをうけて完成車メーカーが共同開発したものが IMDS である。他の調査は調査物質を指定して、含有調査をするが、IMDS は基本的に全ての含有物質を入力する。

IMDS の目的は、法規で禁止されている物質を完成車メーカーがサプライチェーンから取り除くことにある。これらは人体の健康、環境保全、リサイクルに影響が懸念される物質である。また EU の ELV 指令では廃自動車の材料リサイクル率を高めることを自動車メーカーに課していることから、部品メーカーがどのような材料を使用しているかを把握する目的もある。IMDS のマテリアルデータシート(MDS)には全ての物質を 1g か、またはそれよりよい精度で記載する必要がある。

・IMDS 資料を作成する為に必要となるデータ（樹脂めっき品の場合）

- ① 部品番号
- ② 部品名
- ③ 素材名（金属材料名または樹脂材料名）
- ④ 製品重量（完成品の重量、構成部品が複数ある場合はそれぞれの重量を個別に記載）
- ⑤ 素材重量（金属材料重量または樹脂材料重量）
- ⑥ めっき重量、塗装重量、マスキング重量、ラベル重量、マスターバッチ重量
- ⑦ 銅重量
- ⑧ ニッケル重量
- ⑨ クロム重量
- ⑩ リサイクル材の使用の有無、バイオベース材料の割合
- ⑪ 材質表示の有無（記載が求められる場合は有）
- ⑫ 客先 IMDS 企業 ID
- ⑬ その他客先毎の指定、場合により追加で、サプライヤーコード、図面番号、図面作成日などが必要です。

記入に必要な情報は半角英数であることが必要でスペース等も半角で入力が必要です。
 製品に使用されている、樹脂、金属、塗装、マスキングなどを、IMDS で製品情報として
 入力する為には、IMDS に登録されている正式な製品 ID、材料名称などが必要となります。
 （製品の名称と IMDS に登録された名称が異なる場合も存在します。）
 製品が複数の部品の組み合わせによって構成されている場合、完成品と構成部品のすべて
 において個別の IMDS 登録依頼シートを作成する必要があります。

IMDS 登録依頼シート				年 月 日					
送信先企業(企業ID)									
サプライヤーコード									
図面番号			Revision						
図面作成日									
部品番号			Part level						
部品名									
工程									
リサイクル材使用			材料表示有無						
<材料情報>			<重量構成>						
素材	素材		構成	重量(g)					
	材料メーカー		完成品						
	グレード		素材						
	色		マスターバッチ	0					
マスターバッチ	材料メーカー		めっき品						
	グレード		めっき膜	0					
	色		〈素材比率〉	#DIV/0!					
	使用比率		〈めっき比率〉	#DIV/0!					
マスキング	塗料メーカー		マジック印						
	塗料		マスキング膜						
塗装	塗料メーカー		塗装品						
	品番		塗膜						
	品名		ラベルシール						
ラベルシール	メーカー								
	商品名								
<めっき膜構成>									
めっき	膜厚	比重	重量比	膜厚内%	全体%(1)	全体%(2)	純金属99.75	不純物0.4	重量(g)
Cr		7.2	0	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
Ni		8.9	0	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
Cu		8.93	0	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
			0						

図 1. IMDS 作成依頼時に記入するエクセルフォーマット (IMDS 登録依頼シート)

IMDS データは 3 つの階層によって構成され、それぞれ、部品名称、材料名称、化学物質に分けられます。

部品名称では部品番号、部品名称、部品重量、材料表示の有無の記載を行い。

材料名称ではリサイクル材使用の有無、材料重量、材料の選択を行い。

化学物質名称では、化学物質名称、CAS No、含有率などの記載を行う。

部品名称 部品名称 名称 化学物質名称	部品番号 材料コード 材料コード CAS No.	IMDS ID / バージョン	数量	質量 [g]	含有率 [%]	含有率 (範囲値) [%]	材料分類 GADSL SVHC	材質表示 材料のソース アプリケーション [ID]
MLDG,T/GATE	74890-33FY-J600-51	1498562592 / 1		119.31				はい
ABS	3001MF HMJ2096A	503035467 / 1		93.3			5.1.b	リサイクル率 いいえ バイオベース材料の割合 いいえ
Acrylonitrile-butadiene-styrene copolymers	9003-56-9				29.935484	28 - 32		
Styrene-acrylonitrile copolymer	9003-54-7				68.935484	67 - 71		

図2. IMDS の PDF データ、製品構成情報の一例

現在、エクセルに纏められたデータを基にして IMDS への登録作業を行っています。エクセルへの情報の纏め方が人によって異なることや、エクセルに記入された部品名称、部品番号、材料名称などの情報が登録されている IMDS データと異なることが有る等、全体として手探り状態にあります。

IMDS 登録依頼シートのエクセルデータを記載する際には、使用されている樹脂、金属、塗装、マスキングの IMDS の PDF データを取引先から受け取り。IMDS に登録された正式な名称と IMDS ID の記載をお願い致します。

＜材料情報＞			
素材	素材	ABS	
	材料メーカー	テクノUMG株式会社	
	グレード	3001MF	
	色	GRAY	

例、3001MF→3001MF HMJ2096A (IMDS 記載の名称を入力)

IMDS ID 503035467 (可能であれば IMDS ID を記載)

部品番号	6710657 00	Part level	A
------	------------	------------	---

例、部品番号 6710657 00、Part level A→部品番号 671065700A

((違いについて) スペース無し、部品番号として続けて記載、part level は IMDS の項目にない)

取引先の正式な資料であっても、IMDS と表示が異なることが有るので、確認をお願い致します。表記が異なる理由として、作成依頼者と IMDS 資料作成者が異なることが考えられます。

IMDS に登録されている名称、ID、番号でなければ使用できませんので、取引先などに IMDS の PDF を貰う等、確認の上で記載するようにお願い致します。